

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全運動の推進			20年度予算コード	1	整理番号	479	枝番号	
担当部課名	都市整備部 交通対策課		コード	221304	昨年度 整理番号	581,582,583,584				
係名	交通対策係		連絡先 電話番号	3553						
上位施策名		No	6	交通安全の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 1 事業コード 14 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 各署交通安全協会、協議会、各地域交通安全活動推進委員協議会、区民及び道路利用者の生命・財産		(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項 (3) 平成19年度交通安全のつどい実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	交通安全協会等への補助金の交付、交通安全啓発指導の実施及び、反射材等交通安全啓発用品等の配布。区立小学校4年生を対象に、自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故件数を減少させる。						
	活動指標名(式)	(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 自転車安全利用講習会参加者		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内における交通事故件数 (2) 区内における自転車が関係した交通事故件数						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	時間	470	500	501	500				
	活動指標(2)	人	2,694	5,400	5,775	2,800				
	成果指標(1)	件	2,874		2,737					
	成果指標(2)	件	1,047		1,080					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,892	16,228	15,274	16,231	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 活動指標(2)について、19年度は、各小学校の4年生と6年生を対象にした。20年度は、4年生が対象。			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	2,058	3,495	2,832	3,435				
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.72	2.80	2.50	2.70				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	24,643	25,592	22,850				24,678
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	38,535	41,820	38,124	40,909				
	単位あたりコスト(-)÷	円	81,989	83,640	76,096	81,818				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0				0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	38,535	41,820	38,124	40,909				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	交通安全啓発活動				5,660					
	各種団体への支援				4,716					
	自転車安全利用証				3,564					
	自転車交通安全モデル地区				1,334					
その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 479 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	106.9	19年度予算 執行率%	94.1
		横断歩道橋用横断幕や表示幕による視覚的な啓発とともに、高齢者へ反射材を配布し夜間の交通安全の呼びかけなど交通安全啓発指導、啓発パンフレット・啓発用品の配布を通して、区民及び道路安全利用者に対して交通安全意識の向上を図った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		幼児用自転車ヘルメットを廉価で提供する斡旋販売(財政負担なし)を行った。この斡旋販売は今後も実施・継続していく予定である。なお、平成20年度は、区立小学校4年生を対象に自転車安全利用証の交付を実施し、児童及び保護者への自転車の安全運転の意識とルールの自覚及びマナー向上を図っていく。また、警察署と連携しながら、中・高校生への交通安全教育の方法を探る。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・区内の高齢者人口 平成9年 76,371人 平成19年 96,637人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成9年 217件 平成19年 573件 ・区内における自転車に関係した交通事故件数 平成9年 534件 平成19年 1,080件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故が増えており、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多い。					
	今後の予測	高齢者人口が増加(平成22年予測102,432人)し、高齢者の交通事故が増加すると考えられる。また、自転車が関係した事故の増加など、近年の交通事故は、個人の交通安全意識の低下やモラルの欠如が起因しており、今後も交通安全全般に対する意識の啓発を、より強化していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために欠かせない活動であり、今後も継続していく必要がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:より効果的で実用的な啓発用品を選定するよう努める。また、自転車安全利用証の交付制度の実施により、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転意識の啓発をしていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性質上、受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなる。また、自転車安全利用証は、各児童が交付されたという自覚が持てるよう、自転車運転免許証に近いイメージの素材・デザインでの作製が必要となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成17年度から実施している幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売については、販売店がマージン等を負担することで、廉価による販売が実現し、販売実績も十分な成果をあげている。今後も同様の方法で斡旋販売を実施・継続していく。また、自転車安全利用証の交付制度については、講習の指導等を各警察署だけでなくPTAにも依頼し、家族ぐるみでの自転車の安全運転に対する意識の啓発を図っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・交通安全啓発活動で配布する啓発用品は、より効果の見込める実用性の高い啓発用品を選定する。 ・歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していく。 ・幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売については、今後も実施していくとともに、児童用自転車ヘルメットの普及方法を考えしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 啓発用品については、より効果的で実用性の高い啓発資材の選定が必要となるため、素材についての情報収集と併せて、関係機関(警察、交通安全協議会など)と協議する必要がある。 また、幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売及び自転車安全利用証交付制度の実施効果について定期的に検証するとともに、児童用自転車ヘルメットの普及について区内自転車商と検討を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売及び自転車安全利用証制度については引き続き実施していく。交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施していく。 また、歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していく。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯の維持補修			20年度予算コード	1	整理番号	501	枝番号	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	昨年度 整理番号	604				
係名	交通安全施設係		連絡先 電話番号	4634						
上位施策名		No	6	交通安全の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	35 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理及び電気料等の支払を行う。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。					
	活動指標名(式)	(1) 街路灯管理数 (2) 街路灯修理件数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365日) - 街路灯修理件数) / 街路灯管理数 × 365日 (2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	灯	25,105	25,133	25,122	25,155	25,211	99.6		
	活動指標(2)	件	4,061	3,200	2,802	2,600	1,500	186.8		
	成果指標(1)	%	99.35	99.96	99.96	99.97				
成果指標(2)	%	16.17	12.73	11.15	10.33					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	221,595	243,633	215,096	256,153	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	95,272	84,530	84,813	100,291				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	2.38		1.88		1.92		1.88	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	21,563	17,183	17,549	17,183			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	243,158	260,816	232,645	273,336				
	単位あたりコスト(-)÷	円	9,686	10,377	9,261	10,866				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	243,158	260,816	232,645	273,336				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	街路灯維持管理(委託)				130,283					
	街路灯補修(委託)				84,813					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 501 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	87.6	19年度予算 執行率%	88.3
		蛍光灯の一式交換で高価な三波長蛍光灯の採用をやめたため、修理費が前年より下がった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	塗装・ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化はない。 街路灯管理数値：H5年24159灯、19年25122灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられている。					
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況はおおむね満たされており、現状で推移し急激に増加する等大きな変動はないと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。また光熱費についても精査は実施済みである。 理由または具体的内容：					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：区が管理する道路は、無料で一般の利用に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修に際して、現行より消費効率の良い機器の導入を検討し、光量を維持し、消費電力量の削減に取り組みたい。また、GISが導入されることで、紙台帳による処理に比して、より細かな日常管理ができるようになり、効果的な維持補修ができるようになる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 消費効率の良い機器は、現行機器より高価であることから、費用対効果の検証を十分に行う必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現行事業内容については、現状を的確・正確・迅速に把握し、現行予算規模での事業運営に尽力するが、原油価格の高騰により電気料金が増える可能性がある。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯の新設・改修			20年度予算コード	2	整理番号	502	枝番号
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		昨年度 整理番号	605 606		
係名	交通安全施設係		連絡先 電話番号	4634					
上位施策名		No	6	交通安全の推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 1 施策番号 6 事業コード 12 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すべての区道利用者		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	街路灯を新設する。 老朽化した街路灯を改修をする。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。					
	活動指標名(式)	(1) 街路灯新設数 (2) 街路灯改修数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 街路灯整備率 = 街路灯新設数 / 街路灯新設計画数 (2) 街路灯改修率 = 街路灯改修数 / 街路灯改修計画数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(1)	灯	15	28	44	33	33	133.3	
	活動指標(2)	灯	1,063	1,620	1,306	1,620	1,620	80.6	
	成果指標(1)	%	53.57		157.14				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	177,918	220,731	209,415	277,060	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	175,844	216,514	207,029	272,843			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.91	1.51	1.54	1.51			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	17,305	13,801	14,076	13,801		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	195,223	234,532	223,491	290,861			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	13,014,867	8,376,143	5,079,341	8,813,970			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	195,223	234,532	223,491	290,861			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	街路灯新設(委託)				7,181				
	街路灯器具光源改良(委託)				123,245				
	ポールアーム改修(委託)				78,962				
	設計事務所				27				
その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 502 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	157.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	80.6	19年度予算 執行率%	94.9
		商店街の街路灯廃止に伴う街路灯の新設があり、経費が増加した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		現状契約の中で、工事期間を含む完成までの効率的な施工を、業者の協力を得ながら行っている。 街路灯の倒壊、落下を防ぐため、点検を重視し、安全確保に努めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	おおむね全路線に街路灯を設置済みとなったが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となる。事業開始時の設置灯数が多く、新設よりも改修の比重が大きくなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられている。					
	今後の予測	区が管理する道路において、水路での街路灯の設置を進める必要があるため、今後も現状計画数量を維持し、設置を行っていく。また改修時期を迎える街路灯の増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 街路灯は一定の規格を定め改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 要望又は新設道路計画を受け、設置基準による公平で効率的な実施計画を区が行い、専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新設要望から設置完了までの時間を短縮する。改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量の増大時期を向かえ、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各灯柱の劣化状況を正確に把握する人的負担が増加する。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現状維持により、こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。 原材料価格の高騰により、製品価格が上昇するので、現状の予算枠では改修等の目標数の達成は難しい。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯の助成(維持補修)		20年度予算コード	3	整理番号	503	枝番号	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所	コード	222709	昨年度 整理番号	607 608				
係名	交通安全施設係	連絡先 電話番号	4634						
上位施策名	No	6	交通安全の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	46 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	根拠法令等			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	既設街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
	活動指標名(式)	(1) 私道街路灯修理件数 (2) 電気料助成灯数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理灯数 (2) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	件	3,195	2,550	1,629	1,500	1,500	108.6	
	活動指標(2)	灯	8,619	8,645	8,626	8,652	8,704	99.1	
	成果指標(1)	%	38.28	30.46	19.50	17.88			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	75,410	68,526	53,611	59,780	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	48,647	38,551	24,518	27,897			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.66	0.50	0.51	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,980	4,570	4,661	4,570		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	81,390	73,096	58,272	64,350			
	単位あたりコスト(-)÷	円	25,474	28,665	35,772	42,900			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	81,390	73,096	58,272	64,350			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	民有灯補修(委託等)				18,865				
	私道街路灯故障修理委託(委託等)				7,258				
	私道街路灯維持補修工事(委託等)				880				
	電気料助成				26,608				
その他				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 503 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	63.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.8	19年度予算 執行率%	78.2
		蛍光灯の一齐交換で高価な三波長蛍光灯の採用をやめたため、修理費が前年より下がった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		塗装、ポールの材質において耐久性のあるものを採用し、民有灯の耐性を高めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約8400灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきた。前年度は故障修理が多かったが今年は減少した。 管理数値平成5年度8,313灯、平成19年度8,352灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められている。					
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。今後は、省エネルギー型の照明器具に変更していく必要がある。宅地開発等による新設私道の増加に伴い、私道街路灯の新設も若干の伸びがあり、電気料金の増加もありえる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等はするが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の発見や適切な維持管理に、区民の理解と協力を得ることができるようしていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現行予算規模での事業運営に尽力する。 原油価格の高騰により電気料金が増える可能性がある。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯助成(建設補助)		20年度予算コード	4	整理番号	504	枝番号					
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所	コード	222709	昨年度 整理番号	609 610								
係名	交通安全施設係	連絡先 電話番号	4634										
上位施策名	No	6	交通安全の推進										
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	6	事業コード	13
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	申請に基づき、私道街路灯を新設する。老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。							
	活動指標名(式)	(1) 私道街路灯新設数 (2) 私道街路灯器具改修数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数 (2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/				
	活動指標(1)	灯	36	26	18	26	26	69.2					
	活動指標(2)	灯	359	440	416	660	660	63.0					
	成果指標(1)	%	138.46		69.23								
	成果指標(2)	%	81.59		94.54								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	30,394	33,155	31,196	47,242	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	29,612	32,032	30,259	45,567							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.18	0.11	0.12	0.11							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,631	1,005	1,097	1,005						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0						
	総事業費 + +	千円	32,025	34,160	32,293	48,247							
	単位あたりコスト(-) ÷	円	889,583	1,313,846	1,794,056	1,855,654							
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	32,025	34,160	32,293	48,247							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	街路灯新設(委託等)				2,196								
	私道街路灯器具改修(委託等)				21,520								
	私道街路灯ポール改修(委託等)				7,480								
	その他 ()				0								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 504 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	69.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	94.5	19年度予算 執行率%	94.1
		私道街路灯の新設は、要望に基づき実施しているため、19年度は計画数に至らなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		申請から工事完了まで、長時間待たせることのないように、可能な範囲で工事日程を調整した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなってきているが(H1年8307 H8年8256 H19年8352 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いている。事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が寄せられている。					
	今後の予測	新設数については、現在の傾向で推移すると見込まれる。一方改修時期を迎える街路灯への対応が増加する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 区が助成申請を受け、その可否を決定した工事及び改修工事は、専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 申請により設置(新設)というシステムにより、現在無関心等から申請(設置)していない私道も多く、今後も斬次申請され続けるものと考えられるので、本事業を継続していく必要がある。改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量が増大傾向にあるため、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 私道は区の道路管理権がなく、周知活動にも限界がある。また、開発行為に伴う企業者の新設についても、その後の居住者の状況の変化から移設・廃止等の問題が出ることも多く、その調整が課題となっている。灯柱を一本ずつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。またサンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 道路が暗い等の要望に対し、私道においては申請に基づく「助成」であることを説明し要望者並びに近隣住民の理解を得て、基準に照らし合わせ、新設していく。また30年以上経過した器具は早急に改修を進める。 原材料価格の高騰により、製品価格が上昇するので、現在の予算枠では改修等の目標数の達成は難しい。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設の維持補修			20年度予算コード	2	整理番号	505	枝番号	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	昨年度 整理番号	595				
係名	交通安全施設係		連絡先 電話番号	4634						
上位施策名		No	6	交通安全の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	36 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鉄の清掃を行う。また、配電型交差点鉄の電気料金を支払う。				(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第42条 (3)				
	活動指標名(式)	(1) 交通安全施設の補修件数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持する事により、道路利用者の安全を確保する。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 交通安全施設の相談件数に対する補修率(相談件数/補修件数 × 100) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%		
	活動指標(1)	件	523	500	598	500				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	100	100	100	100				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	37,796	38,192	38,046	38,101	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	36,070	36,349	36,299	35,516				
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50	1.48	1.53	1.30	平成19年度補修相談件数421件 平成19年度修理対象管理数 ・反射鏡6,453面 ・防護柵12,117基(3m/基換算) ・標識1,471枚			
	人件費	千円	13,590	13,527	13,984	11,882				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	51,386	51,719	52,030	49,983				
	単位あたりコスト(-)÷	円	98,252	103,438	87,007	99,966				
	財源	千円								
	受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -	千円	51,386	51,719	52,030	49,983					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	道路反射鏡等補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理等)(委託等)				35,448					
	交通安全施設清掃委託(発光式道路鉄)(委託等)				851					
	交通安全施設維持管理(電気料金、材料費等)				1,747					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 505 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	119.6	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	99.6
	・配電式道路鏡については、実施計画に基づき自発光式道路鏡に改良しているため、電気料金は毎年減少している。・道路反射鏡や警戒標識など機能を妨げとなる沿道樹木の剪定や、交通事故などによる破損の応急的な安全対策を職員自ら行い委託経費の削減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・交通事故などにより破損したガラス製鏡面を、接触到強く、耐久性がより高いステンレス製に交換している。 ・道路警戒標識については、事故や老朽化した施設から順次夜間でもライトに反応する広角プリズム板に取替え道路利用者へ案内している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 H57 40,489m H15 36,680m H19 36,352m ・道路反射鏡 3,386本 4,790本 4,860本 ・道路標識 1,632本 1,467本 1,436本				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・交通安全への意識の高まりから道路反射鏡の向き直し、防護柵の補修要望が増えている ・建築工事などに伴う交通安全施設の自費工事による移設要望が多くなっている。				
	今後の予測	・交通安全施設の整備設置は着実に進められており、今後も交通安全施設は増加していく。維持補修工事による補修件数についても、現状維持から微増で推移するものと予測する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは、道路交通の安全を確保する上で、非常に重要である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:交通事故などによる施設破損等の緊急時の初期対応を職員らが行うことで、危険回避や経費削減を図っている。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・接触事故等による道路反射鏡鏡面の交換頻度を削減するために、耐久性の高いステンレス製鏡面への交換を今後も進めていく。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に随時交換し、夜間などの視認性を向上させる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面のステンレス化と道路警戒標識板の広角プリズム利用に伴い経費の増加が見込まれる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出している。予算の増減は見込まない。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設の整備			20年度予算コード	3	整理番号	506	枝番号					
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所			コード	222709		昨年度 整理番号	596,597,598,599,600,601,602,603,						
係名	交通安全施設係			連絡先 電話番号	4634									
上位施策名		No	6		交通安全の推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	-1	施策番号	4	事業コード	11
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区が管理する道路の利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第45条、第85条 (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	道路反射鏡、自発光交差点鉢、防護柵等の交通安全施設を整備・充実する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 各種交通安全施設を整備充実させ、交通事故の防止や減少を図る。								
	活動指標名(式)	(1) 道路反射鏡の新設・改良数(決算数値) (2) すべり止め舗装の新設・改良面積数(決算数値)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備率 = 新設・改良数 / 実施計画数 × 100 (2) 整備率 = 新設・改良面積数 / 実施計画面積数 × 100								
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%						
	活動指標(1)	基	111	100	94	150								
	活動指標(2)	m ²	1,186	1,400	1,275	1,400								
	成果指標(1)	%	111	100	94	100								
	成果指標(2)	%	85	100	91	100								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	90,996	91,712	91,536	109,425	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)							
	(内) 投資的経費等	千円												
	(内) 委託費	千円	88,875	89,446	89,376	107,159								
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.52	3.52	3.64	3.70								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	31,891	32,173	33,270	33,818							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0							
	総事業費 + +	千円	122,887	123,885	124,806	143,243								
	単位あたりコスト(-) ÷	円	1,107,090	1,238,850	1,327,723	954,953								
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0								
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	122,887	123,885	124,806	143,243								
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0									
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)						
	道路反射鏡新設改良					94	基	17,119						
	すべり止め新設・改良					1,275	m ²	14,822						
	視覚障害者誘導標新設・改良					881	枚	4,546						
	白線新設・改良					53,544	m	26,804						
	その他 (交通安全施設整備工事等)					1	式	28,245						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 506 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	94.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	91.1	19年度予算 執行率%	99.8
	未達成理由については、活動指標(1)は、緊急を要する他の交通安全施設の新設・改良に充当された。また、活動指標(2)は、工事困難箇所を夜間工事としたため経費がかさんだことによる。交通安全施設整備・改良全体においては、ほぼ計画通りの事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	耐久性の高い交通安全施設を引き続き設置することに加え、本年は、発注方法の改良により経費削減が行われた。その結果、他の交通安全施設整備の充実が行われた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	交通安全施設に対する、設置・改良要望は依然として増加傾向にある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	生活道路の抜け道化、高齢化等により、交通安全の確保に対する要望が増えている。				
	今後の予測	今後は、新規設置要望に加え、既存施設の改良との併用の増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:各種交通安全施設を充実させることにより、交通事故の防止、注意喚起を行う事ができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 一回毎の施工指示コストが増大する。しかし、数箇所まとめて指示、施工することで事業費を抑制することができる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般に供されるのが原則であるため、受益者負担は適切でない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減はできない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ・専門的な業務を行う工事技術者な工事資機材・車両を常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・引き続き、要望箇所や交通事故が頻発する交差点等において、交通安全施設を設置して行くと共に、既存施設の改良も併せて 行っていく。 新設・改良施設とも、高機能かつ耐久性の強い施設を設置して行く。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成20年度予算で、道路反射鏡等の予算が拡充された。よって来年次の予算増減は見込まない。